



一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

平成28年12月5日

第10回「物流連懇談会」を開催

株式会社三越伊勢丹ホールディングス 大西 洋社長 講演

(一社)日本物流団体連合会(工藤泰三会長)は、11月28日(月)、東京都千代田区の法曹会館2階「高砂の間」において、第10回「物流連懇談会」を開催した。

物流連懇談会は、物流業界の幅広い会員の参加を得て、会員への情報提供、会員相互の情報交換・交流のために行われており、これまでは、物流連会員企業の経営者など物流に直接関わる方の講演を行っていたが、今回は参加者からの要望もあり、初めて荷主の立場からの講師として、株式会社三越伊勢丹ホールディングスの大西 洋社長にご登壇頂き、『小売り流通業の現状と物流業への期待』と題する講演が行われた。

参加者は、会員企業の代表者や幹部など約90名にのぼった。

講演の冒頭には、伊勢丹従業員500人が参加したという「ISETAN-TAN-TAN」のダンス動画が紹介された。

その後、「小売流通業を取り巻く環境と課題」について、小売業の競争状況として、リアルからEコマースに大きく変貌してきている実情と、世界のEC市場の急激な伸長についての説明があった。

次に、デジタル活用の取組として、今や経営戦略はデジタルなくして語れないことや、ICTの進化を背景としたIoT、ビッグデータ等のつながりにより、産業、生活が変わっていくこと、それを利用している企業の事例などが紹介された。

更にサプライチェーンにおける物流改革については、環境問題に絡めて、ドライバーの人手不足等についても指摘がなされ、物流パートナー、卸売業、小売業が連携し、互いに痛みを分かち合い、それぞれの得意分野に特化しながら新たなサプライチェーンを作るべきであることを熱く語られた。

最後に、三越伊勢丹ホールディングスが現在取り組んでいる人財育成と人事制度についての説明がなされ、役員自らマインドを変えるよう指示をしていること、人材に対する考え方としては「最後は人」であり、厳しい状況下だからこそ経営は一人一人に目を向けることが必要だと述べた。また、「女性が働きやすい会社ランキング」で2年連続1位を獲得したが、ワークライフバランスが整わなければ、最高のおもてなしが出来ないという問題意識を持ち、更なる改善に取り組んでいると語った。

講演終了後の質疑時間では、新たに設立された Fun Japan Communications 社の概要等も紹介され、盛況のうちに懇談会は終了した。

次回の物流連懇談会は来年春に開催する予定である。

以上
事務局：西城



講演する大西社長



工藤会長の挨拶



活発な質疑応答